小さな学校　大きな家族　2023

子どもの未来を地域とともに育む都路小学校

田村市立都路小学校長　國分　洋

＜未来を創る「都路っ子」の育成＞

都路町は、東日本大震災による原発事故で一時避難指示区域となりましたが、約９割の住民が帰還され、震災から３年後の平成26年には避難指示解除により、古道小、岩井沢小が再開、平成29年には、古道小、岩井沢小が統合され、都路小学校が開校し、今年度創立７年目となりました。

震災から12年が経過した現在、若者の「移住促進」活動が積極的に行われておりますが年々児童数は減少傾向にあります。保護者、学校運営協議会、学校支援地域本部ボランティア、都路スポーツ少年団などの学校応援団の皆様のご支援やご協力をいただきながら、「小さな学校大きな家族」をモットーに小さくても魅力ある学校づくりに取り組んでおります。

子どもたち一人ひとりは、都路の未来を創るかけがえのない存在であり、保護者、地域の皆様の学校や教育に対する思いや期待は強く大きいものと認識しております。都路小の使命は「子どもの未来を地域とともに育む学校」であることを常に心に留めながら、「都路らしさ」をいかした「都路を生きる教育」の充実に努めてまいります。

＜「幼小中一貫教育」の充実＞

教育目標「未来を創る　人間性豊かな都路っ子の育成」の達成のためには、「幼小中一貫教育」の充実が必要不可欠であります。こども園、小中学校の３校園では、地域とともにある教育、保育を柱として、地域の特性や強みを生かした人材育成を目指し、「夢や志をもち、その実現に向けてがんばる『みやこじっ子』の育成」という共通目標のもと、連携して学校づくりを推進しております。その実現のために、本市教育振興推進プログラムとの関連を図りながら、「授業改善と学力向上」、「特別支援教育の視点に立った個に応じた指導」、「家庭や地域との連携」、「読書活動の充実」、「体力向上と保健指導の充実」について幼小中の教職員の学び合いによる共通実践を推進しております。

＜教育活動の実際＞

○「確かな学力の育成」に向けて

３校園の連携に基づく授業及び家庭学習の改善をＰＤＣＡマネジメントサイクルによって推進するとともに、「わかる、できる授業」を目指した合同授業研究協議会の開催、小中一貫カリキュラムの検討、都路中教員とのＴＴ指導等、学力向上のためのプログラムを実践しております。

○「豊かな心と健やかな体の育成」に向けて

地域の歴史・文化・伝統・産業の探究活動を行うとともに、農業体験、職業体験、福祉体験等をとおして、キャリア教育の充実を図っております。また、豊かな心の育成と体位体力の向上の課題改善に対応するため、運動の日常化やこども園との合同運動会、地域学校保健委員会の開催、道徳科の中学校との合同授業を実施しております。

○「地域とともにある学校教育」をめざし

「学校支援地域本部」との連携による地域の教育的資源や人材を積極的に活用することが、子どもたちや教職員のためばかりでなく、地域教育力の活性化につながっています。地域のよさを学び、発信する教育活動のよさや可能性を今後も追究してまいります。